

## 医療福祉ジャーナリズム特論（乃木坂スクール）

### 「医政局長がハンセン病療養所園長になって変えたこと」

国際医療福祉大学大学院

松谷 有希雄

#### ・ハンセン病とは

- ・慢性感染症（起炎菌：らい菌＝抗酸菌の一種）
- ・菌の病原性（感染力＋発症力）、感染経路
- ・ヒトの感受性（免疫力→病型）、環境因子
- ・末梢神経障害 → 感覚障害、運動障害 → 後遺症
- ・皮膚症状、眼症状、鼻・咽頭・喉頭症状、・・・
- ・治療薬（プロミン→DDS、クロファジミン、リファンピシン等）
- ・らい反応

#### ・ハンセン病の近代史

- ・前史 ～ 宗教、慈善活動
- <1873年 らい菌の発見 by アルマウエル・ハンセン>
  - ・「癩予防二関スル件」の時代 <公立療養所>（明治、大正）～ 隔離開始
  - ・「癩予防法」の時代 <国立療養所>（戦前）～ 絶対隔離
- <1943年 プロミン治験報告 by ジー・H・ファジエー>
  - ・「らい予防法」の時代（戦後）～ 隔離継続
  - ・「らい予防法の廃止に関する法律」以後
  - ・「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」以後

#### ・ハンセン病に対する偏見、差別の背景

（前近代から）

- 外見の変形、手足の不自由＝就労の困難
- 家族内発症＝遺伝病との誤解
  - 家族、社会から疎外  
宗教的差別

(近代)

- 終生隔離（癩予防法） ～ 無癩県運動

## 園長の仕事

### (他の病院長と同様)

- 療養所の組織全体を機能させる病院管理
- 医師、看護師等の医療スタッフをまとめ、医療提供を円滑に進める診療管理
  - 医師等のリクルート
  - 国立病院院長会議、ハンセン病療養所所長会議、

### (ハンセン病療養所ならではの仕事)

- 半世紀以上もここに「住んで」いる人もいる入所者の「村長」としての役割  
(治療棟での診療も、臨床もさることながら相談にのる村長の面があります)
  - 入所者自治会、全療協、様々な団体・集まり
  - ふれあい喫茶
- 園や入所者と関わる公私にわたる各種の団体、個人との調整を含む広い意味での公衆衛生医としての役割
  - 国立ハンセン病資料館
  - 国立感染症研究所ハンセン病研究センター

### (臨床医として)

- 治療棟での診療、病棟でのカンファランスと回診、
- 医局会議・勉強会、学会

## 先 達

- \* メアリ・ヘレナ・コンウォール・リー
- \* 神谷 美恵子
- \* 大谷 藤郎

## 園長の5年間

- 2007 年度
- ・着任（廃止法公布から 11 年、熊本地裁判決から 6 年）
  - ・日本医療機能評価機構の認定取得に向けた作業  
（受審に備える取り組みは、園の診療棟の質を見直し、  
向上させることに大きく貢献。職員の励みにもなった）
- 2008 年度
- ・透析治療開始 30 周年
  - ・「全生学園跡」記念碑除幕
  - ・「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」公布
  - ・ハンセン病療養所として初めての日本医療機能評価機構の認定
  - ・創立百周年記念事業の準備
  - ・御所参内： 皇后陛下美智子様へ園の現況のご説明
- 2009 年度
- ・「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」施行
  - ・新型インフルエンザ予防対策へ協力
  - ・創立百周年記念式典（9 月 28 日）  
（特別講演： 笹川陽平氏、大谷藤郎氏）
  - ・インドネシア人看護師候補者 2 名受け入れ
- 2010 年度
- ・『創立百周年記念誌』発行
  - ・認可保育所の誘致の協議
    - 園長指針の決定
    - 予定地の整地
    - 保育事業者の公募手続き、選定
    - 土地貸付の契約

- 大谷藤郎先生死去（2010年12月7日）
- 東日本大震災 発生（2011年3月11日）

- 2011年度
- 国立病院機構の震災対策現地本部に医師派遣
  - 計画停電、節電への対応
  - 事業者による保育園舎新築工事開始
  - 離任
  - (花さき保育園開園)

## 全生園のくらし

- 衣 ～ かつては病衣、裁縫の世話、補装具  
 食 ～ 給食  
 住 ～ 軽症者、不自由者棟、(病棟)、浴場

- 作業： 介護、大工仕事、土木作業、農作業、消防、図書、理美容、購買、出版  
 文化活動： 文芸、書、絵画、写真、音楽、舞踊、演劇、手芸、陶芸、園芸(盆栽、菊)  
 趣味： 囲碁、将棋、カラオケ  
 スポーツ： 野球、テニス、ゲートボール

盲人会、老人会、傷痍軍人会、県人会、文化や趣味の会  
 自動車などのクラブ活動

レクリエーション活動： 演芸会、映画界、音楽会、バス外出

緑化運動  
 宗教活動  
 政治活動  
 自治活動

等

博徒

宗教団体： 仏教(4寺院)、キリスト教(3教会)、神道(1神社)、天理教、等

(年中行事)

観桜会、園内歩け歩け運動、(七夕祭)、  
納涼祭、敬老の日記念式典、秋の墓参、合同慰霊祭、(運動会)、  
全生園まつり、焼き芋会、春の墓参

看護学校：入学式、楓祭、卒業式  
ハンセン病医学夏期大学講座

## 参考 <年表>

1873年 アルマウエル・ハンセン(ノルウェー)らい菌発見

1897年 第1回国際らい会議(ベルリン)開催

1907年 「ライ予防ニ関スル件」公布 放浪患者を隔離

1909年 連合道府県立療養所(全国5カ所)設立

1915年 断種手術開始

1916年 「ライ予防ニ関スル件」改正 療養所長に懲戒検束権付与

1929年 無らい県運動 始まる

1930年 最初の国立療養所長島愛生園(岡山県)開園

1931年 「ライ予防法」改正 全患者を隔離

1938年 栗生楽泉園(群馬県)に特別病室設置

1941年 日本ライ学会で小笠原登医師(京大)批判さる

同 年 公立療養所の国立移管

1943年 米カーヴィル療養所のファジェー プロミンの効果報告

1946年 東大薬学科の石館守三 プロミン合成に成功

1948年 優生保護法成立(1940年の国民優生法には無い規定)

1949年 プロミン治療の予算化

1951年 参議院厚生委員会参考人発言(光田健輔等3園長証言)

1953年 「らい予防法」公布

1971年 リファンピシン治療始まる

1981年 WHO 多剤併用療法提唱

1988年 邑久長島大橋開通

1996年 「らい予防法の廃止に関する法律」公布

2001年 国家賠償請求訴訟 熊本地裁判決 原告勝訴確定

同 年 「ハンセン病療養所入所者等に対する保証金の支給等に  
する法律」公布

2008年 「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」公布

2009年 同法施行

2019年 ハンセン病家族訴訟 熊本地裁判決 原告勝訴確定

同 年 「ハンセン病元患者家族に対する補償金の支給等に関する法律」、「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律の一部を改正する法律」公布

## 先駆者

後藤 昌文	1875年 東京	起廃病院
テストウィード ベルトラン レゼー 岩下 壮一 井深 八重	1889年 静岡県御殿場	神山復生病院
ケイト・ヤングマン	1894年 東京	目黒慰廃園 <好善社>
ハンナ・リデル エダ・ライト	1895年 熊本県	回春病院
ジャン・マリー・コール	1898年 熊本県	琵琶崎待労院
5人のシスター		
綱脇 龍妙	1906年 山梨県	身延深敬園
コンウォール・リー	1917年 群馬県草津湯之沢	聖バルナバ医院 <聖バルナバ・ミッション>
服部 けさ 三上 千代	1924年 群馬県草津	鈴蘭病院
	+ 1925年 群馬県草津	鈴蘭園
	+ 1931年 宮城県	第二鈴蘭園

(その後、全生病院、国頭愛楽園、多磨全生園)

太田 正雄 (木下 奎太郎)

小笠原 登

石館 守三